

斑点米カメムシを減らそう！ 7月初めは雑草地の草刈り適期！！

除草を行っていない水田周辺雑草地では、斑点米カメムシ類の生息数が多く、特にカスミカメムシ類の発生が多くなっています。また、すでに水田内への侵入もみられています。斑点米カメムシ類の増殖を抑えるため、7月初めまでに、大麦跡や畦畔など水田周辺雑草の除草を徹底しましょう。

1 発生状況

- 6月下旬現在、イネ科雑草が多い雑草地では、アカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメ等が多く発生している。
- カスミカメムシ類は雑草地から約70m飛翔し、斑点米の発生に影響を及ぼす。
- すでに水田内に侵入している圃場も見られ、今後はイネの出穂とともに水田内の生息数が増えると予想される。

2 防除対策

- 斑点米カメムシ類は、イネ科雑草で増殖するため、必ず水田周辺の雑草を除去する。
- オオムギ跡は、雑草が伸び、カメムシ類の増殖地となっているので、ロータリーで浅く耕起するかモア等で除草する。
- 草刈りは、斑点米抑制効果の高い7月初めまでに行う。
- 出穂期以降の草刈りは、カメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- ヒエ等の水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入、定着を助長するので、除草を徹底する。



アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫



アカスジカスミカメ成虫



クモヘリカメムシ成虫

☆最新の農薬登録情報 (<https://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい

